

特定した8つのマテリアリティ

企業理念	パーパス	ありたい姿	ガリレイの提供価値	社会課題(動向)	マテリアリティ	貢献するSDGs	具体的な取り組み	指標	目標年	目標	実績(2022年)	
幸せ四則 生活者の幸せ お客様の幸せ 社員の幸せ 株主・お取引先の幸せ	食といのちの未来を拓く	おいしさの未来を拓く	食のイノベーションの追求により、新たな食材、調理法、メニュー、食べ方を創出し、おいしさの喜びと感動をアップデートし続ける。	<ul style="list-style-type: none"> ●栄養バランスの確保と豊かな食生活の追求 ●食の多様化、新規食材(代替肉、昆虫食等)への対応 ●調理法、メニュー、食べ方の探求 	<p>生活者のくらしを向上</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●MILABを活用した産官学連携による共創の推進 ●食のスタートアップ企業育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●MILAB利用者数 ●スタートアップ支援数 	2025年 2030年	<ul style="list-style-type: none"> ●10,000人/年 ●累計30社、2社上場 	<ul style="list-style-type: none"> ●3,187人/年 ●8社 	
		ゆたかさの未来を拓く	食提供の効率化や鮮度保持の革新により、世界中どこでも、誰でも、いつでも、いつまでも、食のゆたかさを享受できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ●飢餓の撲滅 ●人口爆発 ●食品廃棄の増加 ●途上国ではコールドチェーンインフラが未整備 	<p>フードロスの低減</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●コールドチェーンでの食品の鮮度維持 ●凍結技術で消費期限をより長く ●フードロス低減に貢献する技術開発 ●アジアのコールドチェーンの発展に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ●製品、サービスを通じたフードロス低減貢献量 	2030年	●150,000t/年	●101,069t/年	
			災害時や極限の環境であっても、食と健康のライフラインが途切れない状態を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ●人権の尊重 ●強制労働、児童労働の横行 ●フェアトレードの推進 ●サプライチェーンの寸断・混乱 ●災害の激甚化 	<p>持続可能なサプライチェーンの実現</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●サステナブル調達ガイドライン浸透 ●サステナブル調達の推進 ●サプライチェーン最適化の推進 ●Zero Call Companyの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●サステナブル調達ガイドラインに沿った調達(アンケート回収率) ●内製化、強靱化、デジタル化の推進 ●AIによるスマート診断実施店舗数 	2025年 2030年	<ul style="list-style-type: none"> ●80% ●100% 	●未実施	
		いのちの未来を拓く	食だけでなく、メディカル、ヘルスケアなどの領域を拡大・強化し、多様なライフスタイルとライフステージにあっても、すべての生活者が健やかさを享受できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化社会の進展 ●途上国の医療・介護インフラが未整備 	<p>健康的な生活への支援</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●再生医療、ヘルスケア領域への多様なアプローチ ●アジアのメディカル、ヘルスケアへの貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生医療、ヘルスケア等の新規領域の製品開発 ●メディカル、ヘルスケアに貢献する製品、システム、サービス提供件数 	2025年 2030年	<ul style="list-style-type: none"> ●定性評価 ●10,000件/年 	—	●5,570件/年
			環境負荷軽減、エネルギーマネジメントの革新により、地球上のすべてのいのちがいいきいと健康的であることを保つ。	●地球温暖化の進行	<p>脱炭素社会の実現</p>		<p>環境Action 2030</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリーン冷媒への転換 ●冷媒ガス漏洩防止 ●環境性能の高い製品を開発・提供 ●CO₂排出量削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●加重平均GWP ●冷媒漏洩量 ●LCA評価による環境負荷の少ない製品への移行 ●ガリレイグループCO₂排出量削減率 ●バリューチェーン全体のCO₂排出量削減への取り組み 	2025年 2035年 2025年 2030年 2050年 2025年	<ul style="list-style-type: none"> ●500(内蔵型) ●1,500(別置型) ●0t-CO₂/年 ●定性評価 ●2013年比▲50% ●2013年比▲100% ●定性評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●1,829(内蔵型) ●1,670(別置型) ●63,503t-CO₂/年 ●LCA評価実施 ●エコ型一定速機種廃止 ●2013年比▲31%(9,568t-CO₂) ●エアテック14店舗、エネマネ464店舗(10.6%省エネ貢献)導入 	
		しあわせの未来を拓く	地域市民の一員として身近な人をしあわせにすることから始め、地域社会との共生の実現を通じて、世界中の人々のしあわせを叶えていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●NPO支援、被災地支援、貧困・片親支援、スポーツ支援等の社会貢献活動の拡大 	<p>地域社会との共生</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●ガリレイ1%クラブを通じた社会貢献活動の推進 ●スポーツ振興を通して地域社会に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガリレイ1%クラブ活動実施件数 ●ボランティア参加人数 ●地域コミュニティや行政との共催によるスポーツ振興支援 	2030年 2030年 2025年	<ul style="list-style-type: none"> ●100件/年 ●1,000人/年 ●定性評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●42件/年 ●34人/年 ●企業向けテニス教室実施 	
			将来世代のコールドチェーンを支える人材の育成を通して、おいしさ、ゆたかさ、いのちの未来を拓き、世界中の人々のしあわせの未来を拓いていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●コールドチェーンを支える技術者不足 ●グローバル人材の育成 	<p>人材の育成</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●人材の育成、教育制度の継続的強化 ●ガリレイアカデミー推進・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人当たり研修時間 ●技術者養成学校運営による冷熱技術者の育成 	2030年 2025年	<ul style="list-style-type: none"> ●20時間/人^{*1} ●定性評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●10.5時間/人^{*1} ●短期職業訓練校認定 ●卒業者40名/年 	
			多様な人材雇用と多様なワークスタイルの推進、働き方の革新によって、従業員と家族の物心両面のしあわせを追求する。	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイバーシティ&インクルージョン(女性活躍推進、外国人・障がい者雇用、LGBTQ+)の拡大 	<p>多様な人材の活躍</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●従業員エンゲージメントの向上 ●人材基盤の多様性確保(女性活躍推進、中途採用拡充、若年層の離職低減、シニア人材活用、外国人登用拡充) ●働きやすい職場環境と多様な働き方の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●エンゲージメント全社平均偏差値 ●女性役員比率 ●女性管理職比率 ●海外グループ会社の現地社員の管理職比率 ●時間外労働平均時間 ●有給休暇取得率 	2030年 2030年 2025年	<ul style="list-style-type: none"> ●65^{*1} ●30% ●10%^{*1} ●75% ●20時間^{*1} ●70%^{*1} 	<ul style="list-style-type: none"> ●48.6^{*2} ●8.3% ●2.5%^{*1} ●50% ●28.3時間^{*1} ●53.5%^{*1} 	

※1 フクシマガリレイ単体
 ※2 フクシマガリレイ東日本支社(浅草橋・日本橋事務所)